

令和4年度第3回小千谷市地域公共交通協議会

日時 令和4年9月22日(木)

午前10時00分～

会場 小千谷市役所 大会議室

1. 開会

2. あいさつ 会長 大塚 良夫

3. 議事

(1) 協議事項

小千谷市地域公共交通計画作成に係る調査内容について

【資料1】【資料2】

(2) 報告事項

路線バス運賃の見直しについて

【資料3】

4. その他

5. 閉会

公共交通の利用実態・ニーズ等の把握に向けた実態調査

調査実施計画書（案）

令和 4 年 9 月



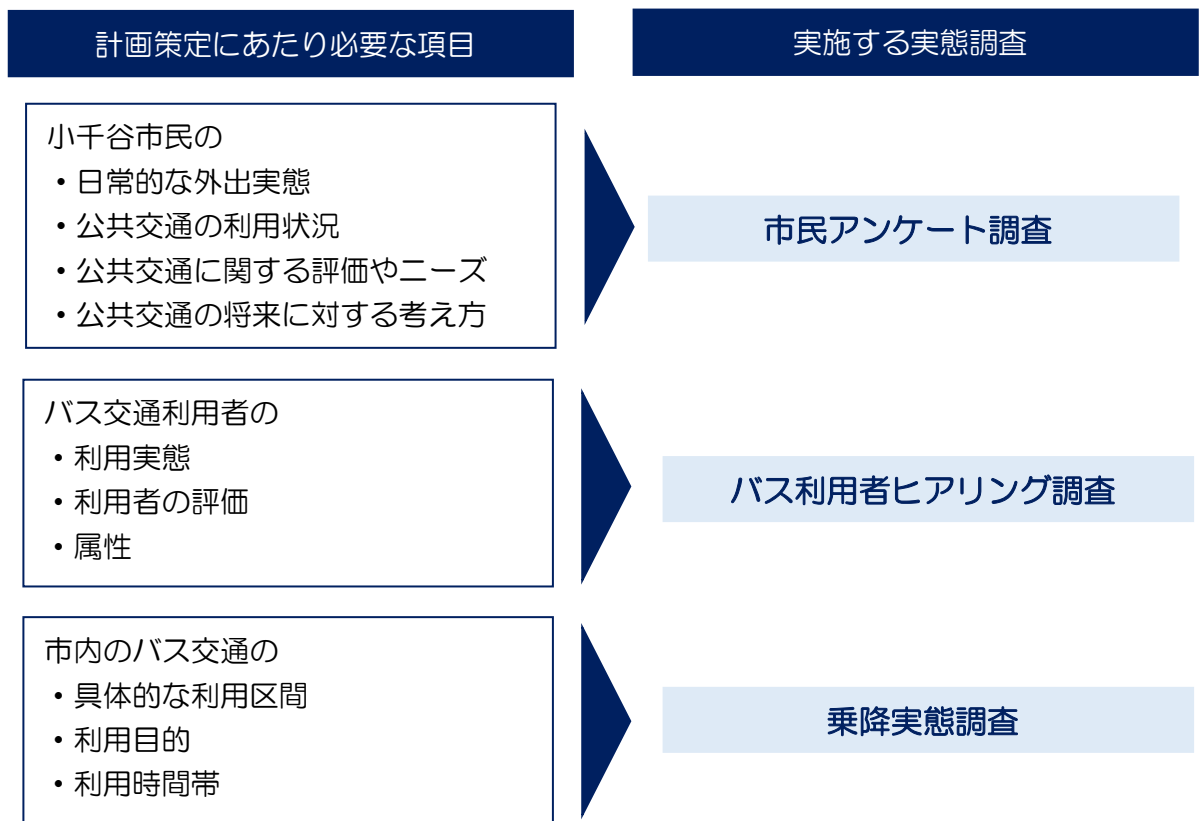
株式会社 ケー・シー・エス 北陸

[目次]

1. 公共交通の利用実態・ニーズ等の把握に向けた調査の実施	1
2. 市民アンケート調査	2
2-1 調査目的	2
2-2 調査対象	2
2-3 調査実施スケジュール	2
2-4 調査内容・方法	3
2-5 配布数の設定	3
2-6 調査項目の設定	5
3. バス利用者ヒアリング調査	6
4. 乗降実態調査	6

1. 公共交通の利用実態・ニーズ等の把握に向けた調査の実施

市ではR5年度に策定する「小千谷市地域公共交通計画」に検討にあたり、市民の外出/公共交通利用実態や公共交通に対するニーズ、今後の公共交通に関する考え方を把握する為、以下の3つの調査を実施する。



2. 市民アンケート調査

2-1 調査目的

本調査は、市民の日常生活における行動特性や公共交通の利用実態、公共交通に対する意見・要望及び満足度を把握することを目的として実施する。

2-2 調査対象

本調査の対象地域は、小千谷市に在住する15歳以上の住民を対象に実施する。

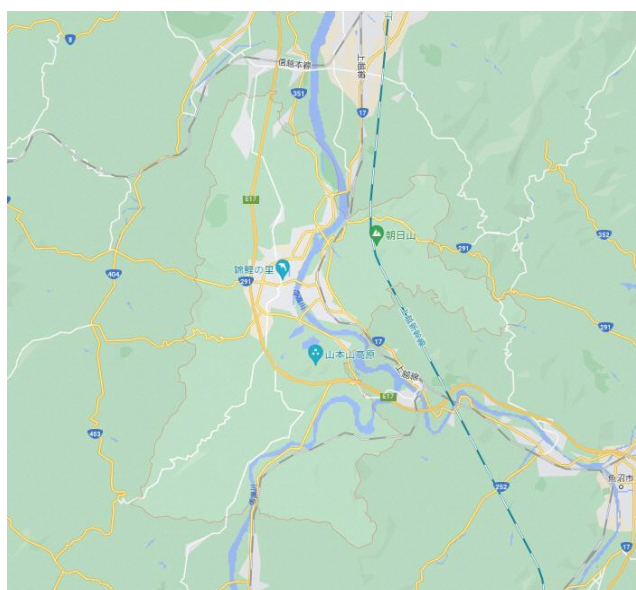


図2-1 調査対象エリア

2-3 調査実施スケジュール

本調査における全体的なスケジュールは下記を予定する。

表2-1 調査実施スケジュール案

段階	時期	内容
調査準備	～9/30	調査票の確認・修正/対象者無作為抽出
	10/1～13	調査票の印刷等
	10/14	調査票の発送開始（×切は10月31日を予定）
集計・分析	11/1～	入力・集計・分析

2-4 調査内容・方法

2-4-1 調査方法

本調査は、以下の調査方法で実施する。

【調査対象】

- ・ 15 歳以上 80 歳未満の市民から無作為に抽出した 1,000 人。

【配布・回収方法】

- ・ 郵送による配布・回収

【配布数及び目標回収率】

- ・ 配布数 1,000 票
- ・ 回収目標 500 票 (50%)
- ・ 回収率向上に向け「スマートフォンによる回答」を併設

2-5 配布数の設定

市民アンケート調査については 15 歳以上の市民を対象に無作為抽出。

抽出にあたっては、地区別・性別別・年齢区分別を考慮するとともに、回答票の偏りを配慮して配布数を設定する。

2-5-1 地区別・性別別・年齢区分別人口

市内の地区別・性別別・年齢区分別人口（R2 年国勢調査参照）を見ると以下の様になり、この分布通りに配布すると自動車利用が多いと想定される 20-64 歳（生産年齢層）中心の表構成となり、移動手段を持たない人の比較的多い若年層・高齢層のからの回答が限定的になることが想定される。。

表 地区別・性別別・年齢区分別人口

	男性			女性			合計
	15-19歳	20-64歳	65-79歳	15-19歳	20-64歳	65-79歳	
西小千谷地区	133	1,400	711	115	1,364	788	4,511
東小千谷地区	130	1,546	697	100	1,436	710	4,619
山辺地区	28	328	170	25	283	170	1,004
吉谷地区	15	245	145	31	245	139	820
城川地区	186	2,374	784	176	2,229	885	6,634
千田地区	83	1,027	405	75	853	411	2,854
川井地区	3	98	62	6	96	62	327
東山地区	9	107	60	2	87	53	318
岩沢地区	12	157	94	5	128	103	499
真人地区	17	263	143	13	195	138	769
片貝地区	91	1,137	546	110	1,018	597	3,499
総計	707	8,682	3,817	658	7,934	4,056	25,854
	52%	52%	48%	48%	48%	52%	100%

2-5-2 回収票数を踏まえた配布票数の設定

今回の調査では、移動手段を持たない市民からの回答が重要となることから、生産年齢層のボリュームを考慮しつつ、その他年代の一定表の確保を念頭に、年齢3区分別の配布票数を以下の様に設定する。

表 配布回数目標の設定

	15-19歳	20-64歳	65-79歳
配布数 (想定回収票)	300 (150)	400 (200)	300 (150)

上記を設定目標を踏まえた地区別・性別別・年齢区分別配布数を以下に示す。

表 地区別・性別別・年齢区分別配布数

	男性			女性			合計
	15-19歳	20-64歳	65-79歳	15-19歳	20-64歳	65-79歳	
西小千谷地区	29	34	27	25	33	30	178
東小千谷地区	29	37	27	22	35	27	176
山辺地区	6	8	6	5	7	6	39
吉谷地区	3	6	6	7	6	5	33
城川地区	41	57	30	39	54	34	254
千田地区	18	25	15	16	20	16	111
川井地区	1	2	2	1	2	2	11
東山地区	2	3	2	1	2	2	12
岩沢地区	3	4	4	1	3	4	18
真人地区	4	6	5	3	5	5	28
片貝地区	20	27	21	24	25	23	140
総計	155	209	145	145	190	155	1,000

2-6 調査項目の設定

調査項目については、市民の日常生活における移動実態や公共の利用状況、問題点・ニーズの他、本市の交通計画の方向性、将来のあり方などの定性的な意見について把握することを念頭に、以下の項目を基本に調査票を設計する。

設計した調査票案を別紙にて示す。

調査票の構成	
調査内容	【調査により明らかにすること】
◆日常の外出状況 ・ 普段の外出の目的（通勤、通学、通院、買物等）、頻度、移動時間、移動手段、目的地	・ 移動実態やニーズと現行の公共交通網・運行ダイヤと照らし合わせ、移動状況やニーズとのズレや問題点を把握し、改善策を検討。
◆公共交通の利用状況 ・ 各公共交通の利用有無 ・ 満足度 ・ 利用しない理由 ・ 改善後の利用意向 ・ 路線バスの認知度 ◆公共交通の全体の満足度	・ サービスレベルや料金などの不公平感がないかを確認し、見直しを検討。 ・ 公共交通の新規利用、既存利用者の利用促進に向けた事業項目の重要度や優先度を把握し、改善策を検討。 ・ どういったケースで各公共交通を利用しているのかを把握し、どのような代替が可能なのかを検討。
◆公共交通に対する意識 ・ 今後の地域公共交通のあり方 ・ 運行費用負担の考え方 ・ 今後必要な取組	・ 公共交通に対する意識を把握し、地域が求めている地域公共交通を検討。

3. バス利用者ヒアリング調査

- 路線バス市内5路線（①十日町-小千谷-長岡線②小千谷車庫前-片貝-長岡駅前線③循環線④小千谷-浦柄-岩間木-塩谷線⑤小千谷-川西-十日町線）の利用者を対象にヒアリング調査を行い、利用路線における運行内容の評価（5段階の満足度）や、改善要望などを把握する。
- 現時点では車内での聞き取り調査を想定しているが、新型コロナ感染状況を踏まえ、拠点施設のバス停での聞き取りや調査票配布方式等から最適な方法を最終的に決定する。

▼把握項目

調査項目	把握内容（概要）
利用実態	<ul style="list-style-type: none"> ・利用路線、利用時間、乗降バス停 ・往復・片道利用、利用目的、利用頻度、支払方法など
利用者の評価	<ul style="list-style-type: none"> ・運行内容に対する評価（運行時間、便数、ルート、運賃等） ・改善意見
回答者の属性	<ul style="list-style-type: none"> ・性別、年齢、職業、居住地 ・運転免許の有無、自家用車の利用状況

4. 乗降実態調査

- 路線バス市内5路線（①十日町-小千谷-長岡線②小千谷車庫前-片貝-長岡駅前線③循環線④小千谷-浦柄-岩間木-塩谷線⑤小千谷-川西-十日町線）の詳細な乗降状況、利用区間等の乗降実態を把握するため、特定日の路線バス全利用者を対象に調査を実施する。
- 調査の実施方法については、バス車両内に調査員を配置して調査シートを車内で配布・回収する「乗り込みOD調査」とする。
- なお、乗降実態調査では、次項に示す調査シートを活用し、乗車バス停、乗降バス停を確認して、利用区間（OD）を把握するとともに、利用目的・属性等の簡易なニーズも把握する。

▼乗降実態調査 項目イメージ

項目	内容
対象者	バス利用者（利用者全数）
調査日	平日2日、休日1日（調査日は交通事業者と調整の上設定）
調査方法	調査員が路線バス等に乗り込み、乗車時に調査カードを直接配布し、降車時に回収。乗車人数が少ない場合等、状況に応じて調査員が対応。
調査項目	利用目的、属性（年齢・性別）、乗車・降車・バス停 等

▼バス利用実態調査カード（イメージ）

バス利用調査カード

5性化協議会

バス利用調査にご協力をお願いします

○裏面の質問について、あてはまる答えを1つずつ選んで折り込み、お降りの際に調査員にお渡しください。
○1便ごとの調査ですので、以前ご回答いただいた場合でもご協力ください。

乗車バス停番号

降車バス停番号

調査員記入

乗車日時

乗車時刻

降車時刻

乗車バス停番号

降車バス停番号

バス利用調査カード

以下の質問について、あてはまる答えを1つずつ選んで折り込み、お降りの際に調査員にお渡しください。
折り間違えた場合は、一旦戻していただければ助かります。

← 折り込む		折り込む →	
現金	運賃の支払方法	通勤・通学定期券	その他
回数券		月1～3日	月1回未満
週3日以上	最近のバス利用回数	月1～3日	月1回未満
週1～2日		月1回未満	月1回未満
通勤・通学	バスの利用目的	買物・私用など	業務（通勤以外）
通院・通所など		内陸縦貫鉄道	デマンド交通
鉄道（JR）	他の交通へ乗り継ぎ	市内循環バス	予約制ドアToドア交通
路線バス（社の路線）		市内循環バス	交通事業者間の共通定期券
市民病院直通バス	本市に必要なサービス（上位2つまで）	市内循環バス	鉄道とバスの接続性向上
鉄道駅への輸送交通		予約制ドアToドア交通	鉄道とバスの接続性向上
定額制の運賃設定	年齢	50～64歳	65～74歳
待合い環境の整備・充実		65～74歳	75～84歳
～14歳		75～84歳	85歳以上
15～18歳		85歳以上	
19～29歳	性別	男性	女性
30～49歳		女性	
ご協力ありがとうございました			

小千谷市の公共交通に関するアンケート調査のお願い

日頃から小千谷市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

現在、小千谷市では、JR、バス(路線バス、循環バス、高速バス)、コミュニティバス、乗合タクシー、タクシーといった公共交通が運行しておりますが、利用者減少や運転手不足により事業者の経営が圧迫され、路線廃止や運行数減少をせざるを得ない困難な状況となっております。

このような中、市民の皆様にとって利用性が高く持続可能な公共交通サービスの今後の方向性を設定する総合的な計画である「小千谷市地域公共交通計画」の策定を進めています。

そこで、市民のみなさんの日常的な移動実態やよく利用する施設、公共交通の利用が可能となる条件、バス交通維持のあり方に関する意向等を把握する為、アンケート調査を実施させていただくことになりました。

アンケート調査の実施にあたり、市内にお住まいの15歳以上の方の中から、無作為に1,000人の方を選び、調査票を送らせていただきました。ご回答の内容は、全て統計的に処理し、プライバシーの保護はもとより、他の目的に利用することは一切ございません。

ご多忙のところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。

アンケートはWEBからも回答ができます。
こちらのQRコードを読み込んでご回答をお願いします。

令和4年10月

小千谷市地域公共交通協議会（事務局：小千谷市観光交流課）

【ご記入にあたってのお願い】

- 封筒の宛名のご本人様がお答えいただくようお願いいたします。なお、ご本人様が記入できない場合は、ご本人様と相談のうえ、ご家族の方が代理で記入していただいても構いません。
- 回答は、選択肢の中から、該当する番号に○をつけてください。選択肢からお選びいただく数が設問によって異なりますので注意書きに従ってください。
- 「その他」をお選びいただいた場合は、その後にある（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
- 回答する内容は、現在（令和4年10月時点）の状態でお答えください。
- ご記入いただいたアンケート調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、10月31日（月）までにお近くのポストに投函してください。
- アンケートについてのご質問やお問い合わせは、下記までお願い致します。

小千谷市 観光交流課地域振興係課 担当：●●

電話：●●

小千谷市公共交通に関する市民アンケート調査票

■あなた自身のことについて

問1 あなた自身のことについて、各項目であなたに最も近い選択肢をお選び下さい。

① 性別(一つに○)	1. 男性 2. 女性
② 年齢(一つに○)	1. 15～19歳 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代 5. 50歳代 6. 60～64歳 7. 65～69歳 8. 70歳代
③ 職業(一つに○)	1. 会社・団体役員 2. 会社員 3. 団体職員 4. 公務員 5. 自営業(農林水産業含む) 6. パート・アルバイト・派遣社員 7. 学生 8. 専業主婦(主夫) 9. 無職 10. その他
④ お住まいの町名(具体記入)	小千谷市()町
⑤ 自宅から最寄り駅やバス停に“徒歩”で移動した場合の所要時間(一つに○)	【自宅～最寄り駅】※おおよそで構いません。 1. 5分以下 2. 5～10分 3. 10～20分 4. 20～30分 5. 30分以上 【自宅～最寄りバス停】※おおよそで構いません。 1. 5分以下 2. 5～10分 3. 10～20分 4. 20～30分 5. 30分以上
⑥ 運転免許証の保有状況(一つに○)	1. 現在保有している ⇒⑦へ 2. 既に返納した ⇒問3へ 3. 保有していない ⇒問3へ
⑦ 自動車の主な使用状況(一つに○)	1. 自ら運転している 2. 免許はあるが自家用車は保有していない 3. 自分では運転せず、家族等が運転する車に同乗している ⇒回答後問2へ

問2 運転免許証を保有している方で“65歳以上”の方にお聞きします。(65歳未満の方は問3へお進みください。) 免許返納に関する以下の設問について、あなたに最も近い選択肢をお選び下さい。

① 運転免許証返納に対する考え(一つに○)	1. 今すぐではないが、今後返納をすることを考えている ⇒②③へ 2. 今すぐにも返納したいと考えている ⇒③へ 3. 今のところ運転免許証の返納は考えていない ⇒④へ
② 返納しようと思う年齢の目安(一つに○)	1. ～70歳頃 2. 70～75歳頃 3. 75～80歳頃 4. 80歳以降
③ 返納後に利用したい主な移動手段(一つに○)	1. 家族の送迎 2. 鉄道 3. 路線バス 4. コミュニティバス 5. 乗合タクシー 6. タクシー 7. 徒歩 8. 自転車 9. その他 ⇒回答後問3へ
④ 返納を考えていない主な理由(すべてに○)	1. 運転に不安がないから 2. 自分以外運転できる人がいないから 3. 仕事に自動車が必要だから 4. 通院や買い物が不便になるから 5. 免許返納したいが、返納後の移動手段がないから・わからないから 6. 免許返納したいが、返納後の移動の費用負担が大きいから 7. その他(具体的に:)

■ 普段の外出について

問3 あなたは日頃どのような“お出かけ（自宅からの外出）”をされていますか。最も多いお出かけと、その次に多いお出かけについて、それぞれ内容を教えてください。

※外出しない方、外出できない方は問4へお進みください。

	最も多いお出かけ	その次に多いお出かけ
目的 (1つに○)	1. 通勤 2. 通学 3. 買い物 4. 通院 5. 送迎 6. 観光・レクリエーション 7. その他 ()	1. 通勤 2. 通学 3. 買い物 4. 通院 5. 送迎 6. 観光・レクリエーション 7. その他 ()
目的施設名 (具体記入)	() ※できるだけ具体的に記入してください。 【例】○○スーパー△△店など	() ※できるだけ具体的に記入してください。 【例】○○スーパー△△店など
外出頻度 (1つに○)	1. ほぼ毎日 2. 平日のみ 3. 休日のみ 4. 週に数日 5. 月に数日 6. 年に数日	1. ほぼ毎日 2. 平日のみ 3. 休日のみ 4. 週に数日 5. 月に数日 6. 年に数日
移動手段 (その際利用 する交通手段 全てに○)	1. JR 2. 路線バス 3. 循環線 4. コミュニティバス 5. 乗り合いタクシー 6. 高速バス 7. 自家用車（自分で運転） 8. 自家用車（家族等の運転による送迎） 9. バイク（原付含む） 10. 自転車 11. 徒歩 12. その他（例：学校・病院・企業の送迎バス） ()	1. JR 2. 路線バス 3. 循環線 4. コミュニティバス 5. 乗り合いタクシー 6. 高速バス 7. 自家用車（自分で運転） 8. 自家用車（家族等の運転による送迎） 9. バイク（原付含む） 10. 自転車 11. 徒歩 12. その他（例：学校・病院・企業の送迎バス） ()
自宅を出発する 時間帯(記入)	午前・午後 () 時頃に出発	午前・午後 () 時頃に出発
自宅へ帰宅する 時間帯(記入)	午前・午後 () 時頃に帰宅	午前・午後 () 時頃に帰宅

問4 普段外出しない方、外出できない方にお聞きします。外出しない、外出できない理由を教えてください。該当する番号全てに○をつけてください。

1. 自家用車が利用できないから 2. 公共交通が不便だから 3. 健康的要因で外出が困難だから
4. 外出する用事がないから 5. その他 ()

■鉄道の利用について

問5 あなたの“この1年間の鉄道の利用状況”について、以下をお答えください。

<p>① 利用する頻度 (1つに○)</p>	<p>1. ほぼ毎日 2. 週に数日程度 3. 月に数日程度 4. 年に数日程度 ⇒1~4を選択した人は②へ 5. 利用していない ⇒問6へ</p>
<p>【利用している方のみ】 ② 目的および満足度 (それぞれ1つに○)</p>	<p>【目的】 1. 通勤 2. 通学 3. 買い物 4. 通院 5. 観光・レクリエーション 6. その他 ()</p> <p>【満足度】 1. 満足 2. やや満足 3. どちらともいえない 4. やや不満 5. 不満 ※4、5の場合、その理由をご記入ください (理由:) ⇒回答後問6へ</p>

■路線バス・循環線（高速バスを除く）の認知度について

問6 あなたが路線バス・循環線（高速バスを除く）について知っていることを教えてください。
該当する番号全てに○をつけてください。

<p>1. 市内を路線バスが走っていること 2. 自宅近くのバス停の位置 3. 自宅近くのバス停の名前 4. 自宅近くを走るバスの時刻表（ダイヤ） 5. 自宅近くを走るバスの運行経路（ルート） 6. 自宅近くを走るバスで行くことのできる施設 7. 自宅近くを走るバスの運賃 8. 感染予防のため、車内の消毒を行っていること 9. バスのことは何も知らない</p>

■路線バス・循環線（高速バスを除く）の利用について

問7 あなたの“この1年間の路線バス及び循環線（高速バスを除く）の利用状況”について、以下をお答えください。

<p>① 利用する頻度 (1つに○)</p>	<p>1. ほぼ毎日 2. 週に数日程度 3. 月に数日程度 4. 年に数日程度 ⇒1～4を選択した人は②へ 5. 利用していない ⇒③④へ</p>
<p>【利用している方のみ】 ②目的および満足度 (それぞれ1つに○)</p>	<p>【主な目的】 1. 通勤 2. 通学 3. 買い物 4. 通院 5. 観光・レクリエーション 6. その他 ()</p> <p>【満足度】 1. 満足 2. やや満足 3. どちらともいえない 4. やや不満 5. 不満 ※4、5を選択した人は、その理由をご記入ください (理由 :) ⇒回答後問8へ</p>
<p>【利用していない方のみ】 ③ 利用するための条件 (該当する選択肢番号 最大3つまで記入)</p>	<p>1つ目 : () 2つ目 : () 3つ目 : ()</p> <p><選択肢> 1. 運行本数が多いこと 2. 遅延が無いこと 3. 始発時間が早く、終発時間が遅いこと 4. 鉄道や他のバスとの乗り継ぎ時間が合うこと 5. 車内が空いていること 6. 自宅や目的地などから最寄りバス停まで近いこと 7. 行きたい施設を経由する路線があること 8. 目的地まで最短ルートで運行されること 9. バス停にベンチや屋根が整備されること 10. 運賃の割引制度があること (例：乗継割引など) 11. バスのダイヤやルートなどの情報がわかること 12. 車いすでも気軽に乗れる環境があること 13. 杖やカート（押し車）でも気軽に乗れる環境があること 14. 自分の居住する地区で運行すること 15. その他 (具体的に :)</p>
<p>【利用していない方のみ】 ④ 上記③で選択した条件 が改善された場合の今 後の利用意向(1つに ○)</p>	<p>1. 利用する 2. たぶん利用する 3. 改善されても利用しない ※3の場合、その理由をご記入ください (理由 :)</p>

この設問はコミュニティバスの運行している岩沢地区にお住まいの方のみお答えください。それ以外の方は問9にお進みください。

■コミュニティバスについて

問8 あなたの“この1年間のコミュニティバスの利用状況”について、以下をお答えください。

<p>① 利用する頻度 (1つに○)</p>	<p>1. ほぼ毎日 2. 週に数日程度 3. 月に数日程度 4. 年に数日程度 ⇒1～4を選択した人は②へ 5. 利用していない ⇒③④へ</p>
<p>【利用している方のみ】 ②目的および満足度 (それぞれ1つに○)</p>	<p>【主な目的】 1. 通勤 2. 通学 3. 買い物 4. 通院 5. 観光・レクリエーション 6. その他 ()</p> <p>【満足度】 1. 満足 2. やや満足 3. どちらともいえない 4. やや不満 5. 不満 <u>※4、5の場合、その理由をご記入ください</u> (理由：) ⇒回答後問9へ</p>
<p>【利用していない方のみ】 ③ 利用するための条件 (該当する選択肢番号 最大3つまで記入)</p>	<p>1つ目：() 2つ目：() 3つ目：()</p> <p><選択肢> 1. 運行本数が多いこと 2. 遅延が無いこと 3. 始発時間が早く、終発時間が遅いこと 4. 鉄道や他のバスとの乗り継ぎ時間が合うこと 5. 車内が空いていること 6. 自宅や目的地などから最寄りバス停まで近いこと 7. 行きたい施設を経由する路線があること 8. 目的地まで最短ルートで運行されること 9. バス停にベンチや屋根が整備されること 10. 運賃の割引制度があること (例：乗継割引など) 11. バスのダイヤやルートなどの情報がわかること 12. 車いすでも気軽に乗れる環境があること 13. 杖やカート (押し車) でも気軽に乗れる環境があること 14. その他 (具体的に)</p>
<p>【利用していない方のみ】 ④ 上記③で選択した条件 が改善された場合の今 後の利用意向(1つに ○)</p>	<p>1. 利用する 2. たぶん利用する 3. 改善されても利用しない <u>※3の場合、その理由をご記入ください</u> (理由：)</p>

この設問は乗合タクシーの運行している岩沢地区・川井地区・吉谷地区・真人地区にお住まいの方のみお答えください。それ以外の方は問 10 にお進みください。

■乗合タクシーについて

問 9 あなたの“この1年間の乗合タクシーの利用状況”について、以下をお答えください。

<p>① 利用する頻度 (1つに○)</p>	<p>1. ほぼ毎日 2. 週に数日程度 3. 月に数日程度 4. 年に数日程度 ⇒1~4 を選択した人は②へ 5. 利用していない ⇒③④へ</p>
<p>【利用している方のみ】 ②目的および満足度 (それぞれ1つに○)</p>	<p>【目的】 1. 通勤 2. 通学 3. 買い物 4. 通院 5. 観光・レクリエーション 6. その他 ()</p> <p>【満足度】 1. 満足 2. やや満足 3. どちらともいえない 4. やや不満 5. 不満 ※4、5の場合、その理由をご記入ください (理由 :) ⇒回答後問 10 へ</p>
<p>【利用していない方のみ】 ③ 利用するための条件 (該当する選択肢番号 最大3つまで記入)</p>	<p>1つ目 : () 2つ目 : () 3つ目 : ()</p> <p>＜選択肢＞ 1. 運行本数が多いこと 2. 遅延が無いこと 3. 始発時間が早く、終発時間が遅いこと 4. 鉄道や他のバスとの乗り継ぎ時間が合うこと 5. 車内が空いていること 6. 自宅や目的地などから最寄りバス停まで近いこと 7. 行きたい施設を経由する路線があること 8. 目的地まで最短ルートで運行されること 9. バス停にベンチや屋根が整備されること 10. 運賃の割引制度があること (例：乗継割引など) 11. バスのダイヤやルートなどの情報がわかること 12. 車いすでも気軽に乗れる環境があること 13. 杖やカート (押し車) でも気軽に乗れる環境があること 14. その他 (具体的に)</p>
<p>【利用していない方のみ】 ④ 上記③で選択した条件 が改善された場合の今 後の利用意向(1つに ○)</p>	<p>1. 利用する 2. たぶん利用する 3. 改善されても利用しない ※3の場合、その理由をご記入ください (理由 :)</p>

■公共交通全体に対する満足度について

問 10 現在の小千谷市内の鉄道やバスなどの公共交通は、あなたにとって日常生活を送る上で満足できる交通手段ですか。公共交通全体に対する満足度として該当する番号1つに○をつけてください。

1. 満足 2. やや満足 3. どちらともいえない 4. やや不満 5. 不満

※4、5の場合、その理由をご記入ください

(理由 :

)

■公共交通に関する考えについて

問 11 今後の小千谷市内の公共交通の方向性について、あなたのお考えに最も近いものを選択し、該当する番号1つに○をつけてください。

1. 現在の公共交通を維持すべき⇒問12へ
2. 公共交通の充実・拡大を図るべき⇒問12へ
3. 移動ニーズや費用対効果を考えて、ふさわしい形に縮小すべき⇒問13へ
4. その他（具体的に

)

問 12. (問11で「1. 現在の公共交通を維持すべき」、「2. 公共交通の充実・拡大を図るべき」と回答した方のみ) 公共交通の維持・充実・拡大による運行経費等の負担増についてどのようなお考えをお持ちですか？あなたのお考えに最も近いものを選択し、該当する番号1つに○をつけてください。

1. 公共交通維持・向上の為に市の財政負担が増額となっても、仕方がないと思う
2. 受益者（利用者）の負担を増やす事（＝運賃値上げ）で、公共交通維持・向上を図る必要がある
3. 自治会や地域がある程度費用を負担することで、公共交通維持・向上を図る必要がある
4. 市民や来訪者の多くが公共交通を利用し、利用者を増やすことで、公共交通維持・向上に協力する
5. その他（具体的に

)

問 13. 公共交通の利便性を高めつつ維持していくためには、今後、どのような取り組みが必要だと思いますか？該当する番号すべてに○をつけてください。

1. 公共交通の使い方がわかるパンフレットの作成
2. 公共交通の情報をまとめたホームページやアプリの作成
3. 鉄道、バス、乗合タクシーなどの乗り方教室の実施
4. 鉄道駅やバス停などの待合い環境の整備
5. 市内の公共交通共通乗車券（どの公共交通も1枚の券で利用できる）
6. 商業施設との企画乗車券（公共交通を利用して買物をすると商品割引サービスなど）
7. 免許返納者への移動支援・拡充
8. 運賃の値上げ
9. 路線バスの利用の少ない便の廃止・減便など、運行本数の効率化
10. 路線バスの*デマンド交通・コミュニティバスへの切り替え
11. ご近所や知り合いなどで助け合って移動する
12. その他（具体的に :

)

※デマンド交通：路線バスのように決められた時間・ルートを運行するのではなく、予め設定された地域内において、利用者の予約に合わせて最適なルート・運行時間をその都度決定して運行する公共交通。

※乗合タクシー・コミュニティバス等：生活交通の確保のため、路線バスより小型の車両（ワゴン車等）を用いて、タクシー事業者や地域住民等が運行を担う公共交通。

設問は以上になります。ご協力ありがとうございました。

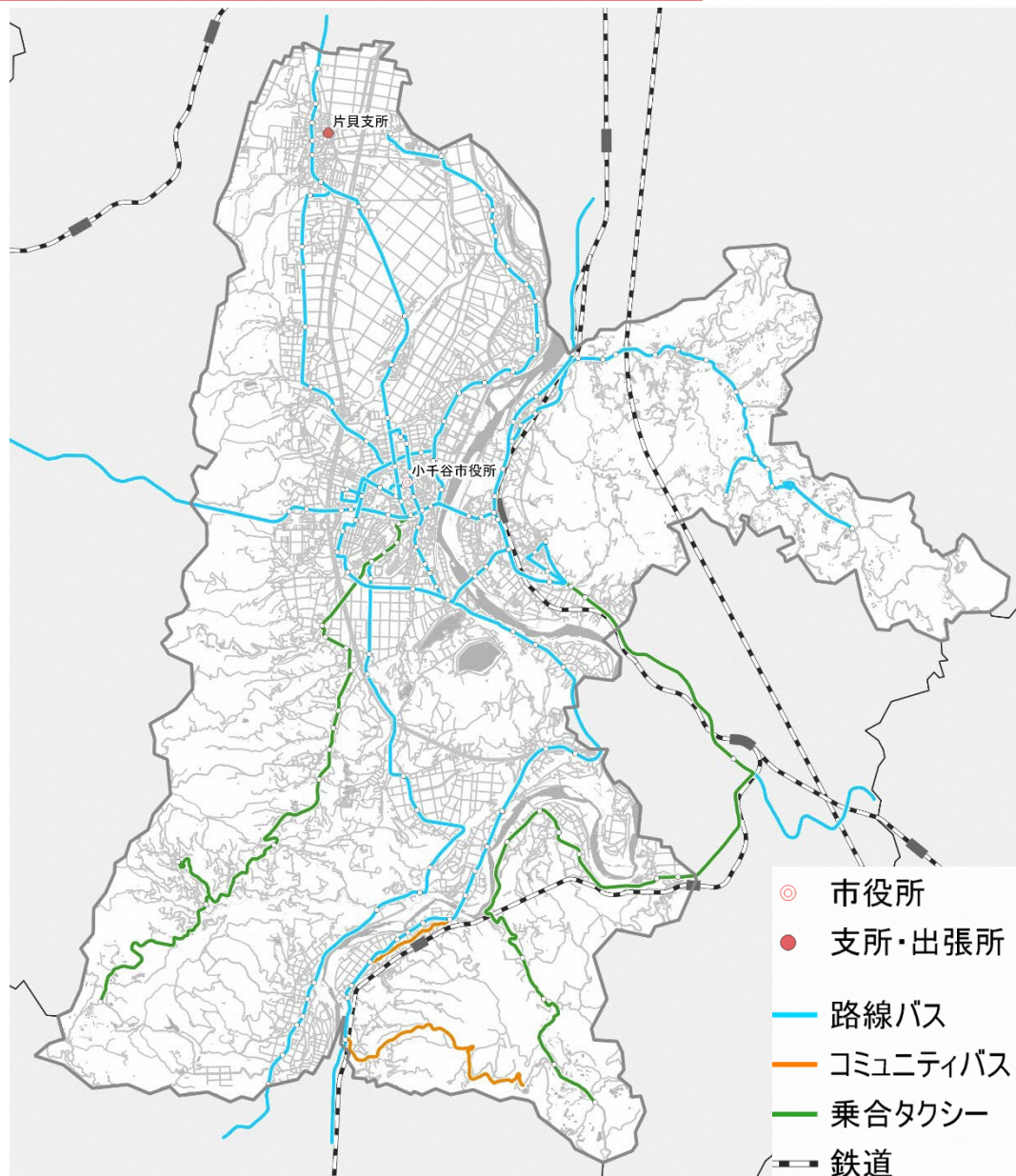
小千谷市の公共交通の現状

令和4年9月

小千谷市地域公共交通協議会 事務局

1. 小千谷市の公共交通ネットワーク

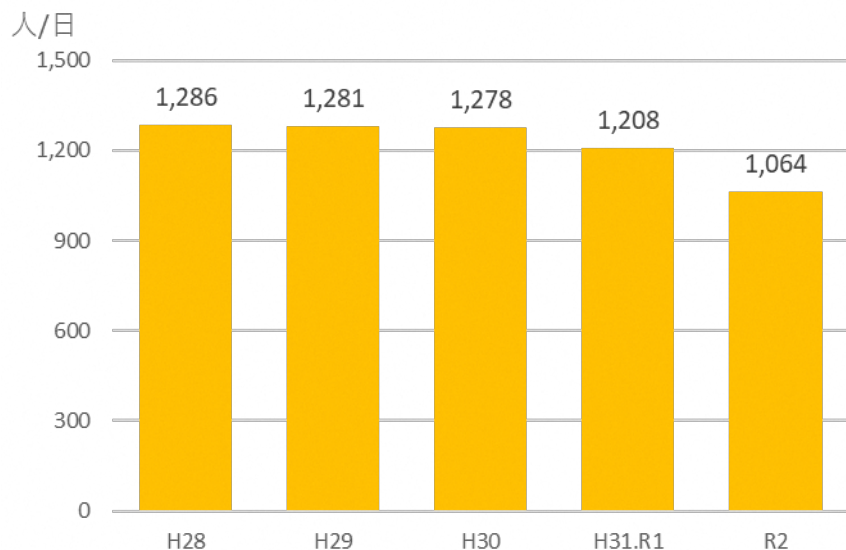
小千谷市は、鉄道(JR)、路線バス、コミュニティバス、乗合タクシー、高速バス、タクシーにて公共交通ネットワークが形成されています。



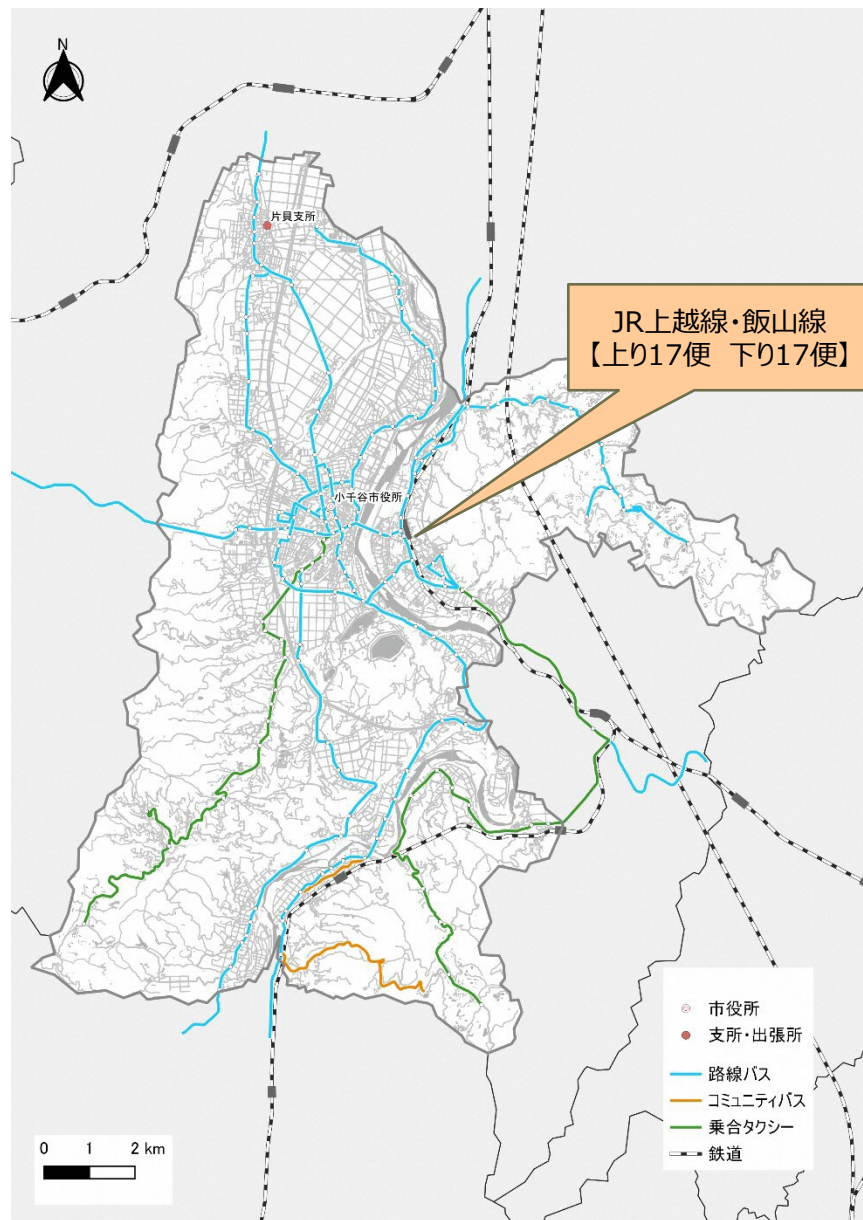
2. 各公共交通の利用状況

(1) 鉄道

- 本市では、JR上越線・飯山線が運行し市内に3駅が立地、上り下りともに17本(平日本数)運行しています。
- 小千谷駅の鉄道利用者数を見ると、ほぼ横ばいで推移していましたが、新型コロナウイルスの感染拡大後のR2では大幅に減少しています。



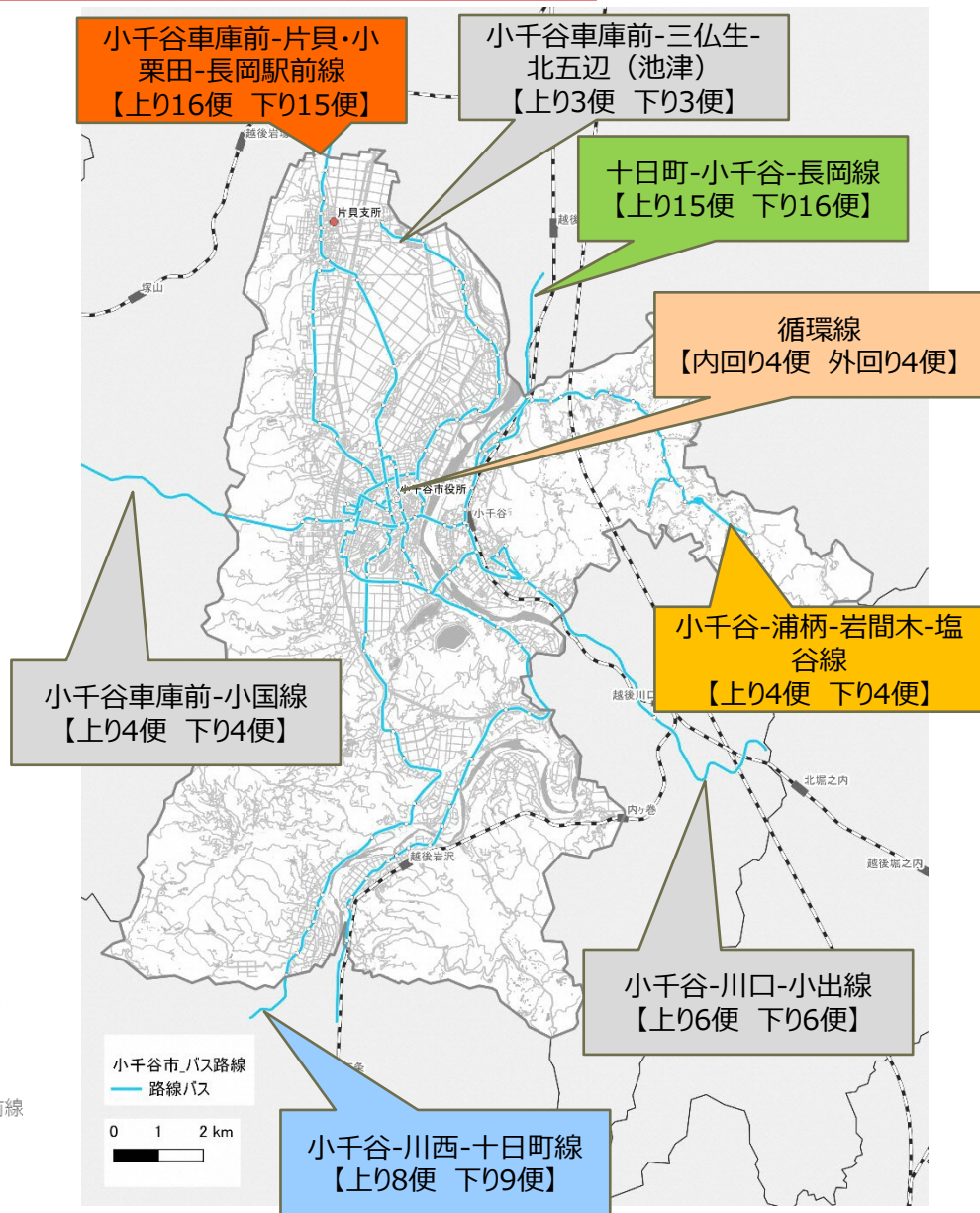
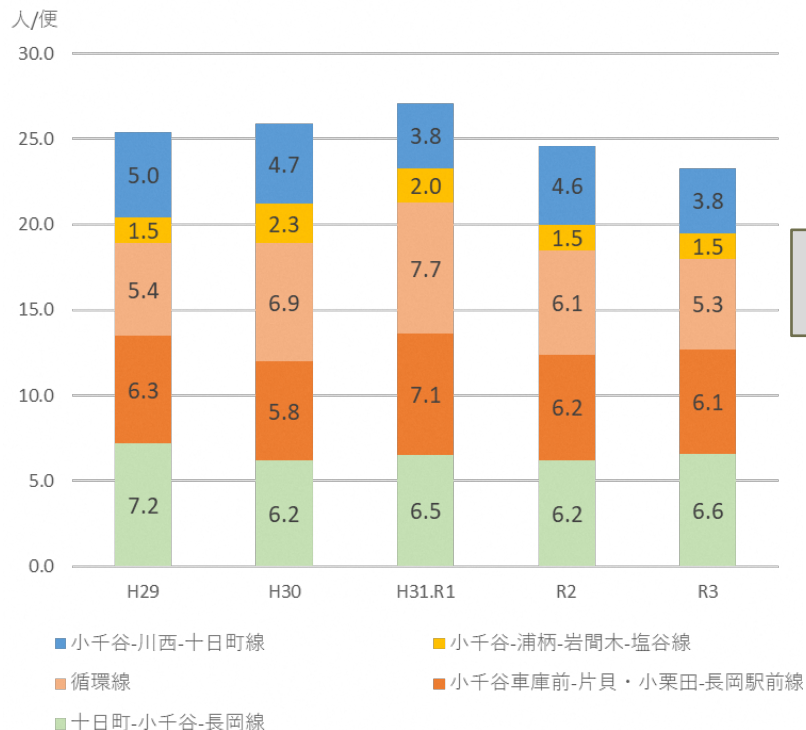
▲小千谷駅の利用者数の推移



2. 各公共交通の利用状況

(2) 路線バス

- 本市では、路線バスが8路線運行しています。
- そのうち5路線の利用状況(1便当たり利用者数)を見ると、すべての便で緩やかな減少傾向で推移し、特に、新型コロナウイルスの感染拡大によりR2年以降の減少が顕著です。

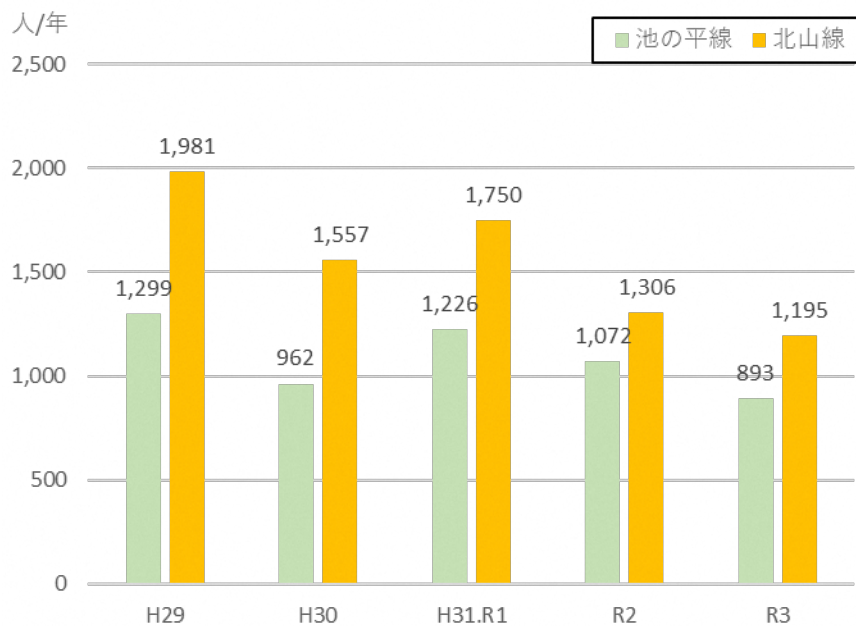


▲市内5路線の1便当たり利用者数の推移

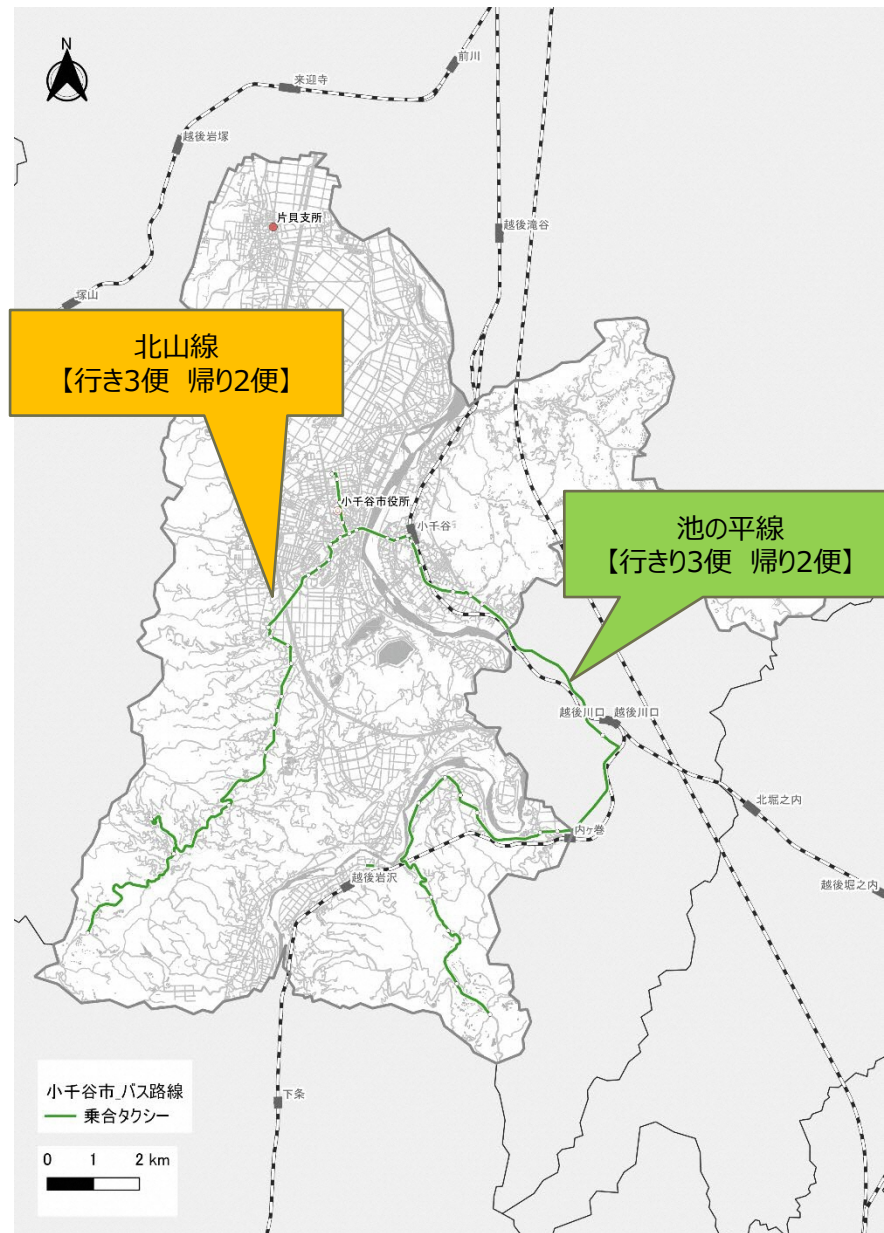
2. 各公共交通の利用状況

(3) 乗合タクシー

- 本市では、路線バスが運行されていない地域にて乗合タクシー2路線を運行しています。
- 利用者数は、両路線とも減少傾向で推移し、路線バスと同様、新型コロナウイルスの感染拡大によりR2年以降の減少が顕著です。



▲乗合タクシーの年間利用者数



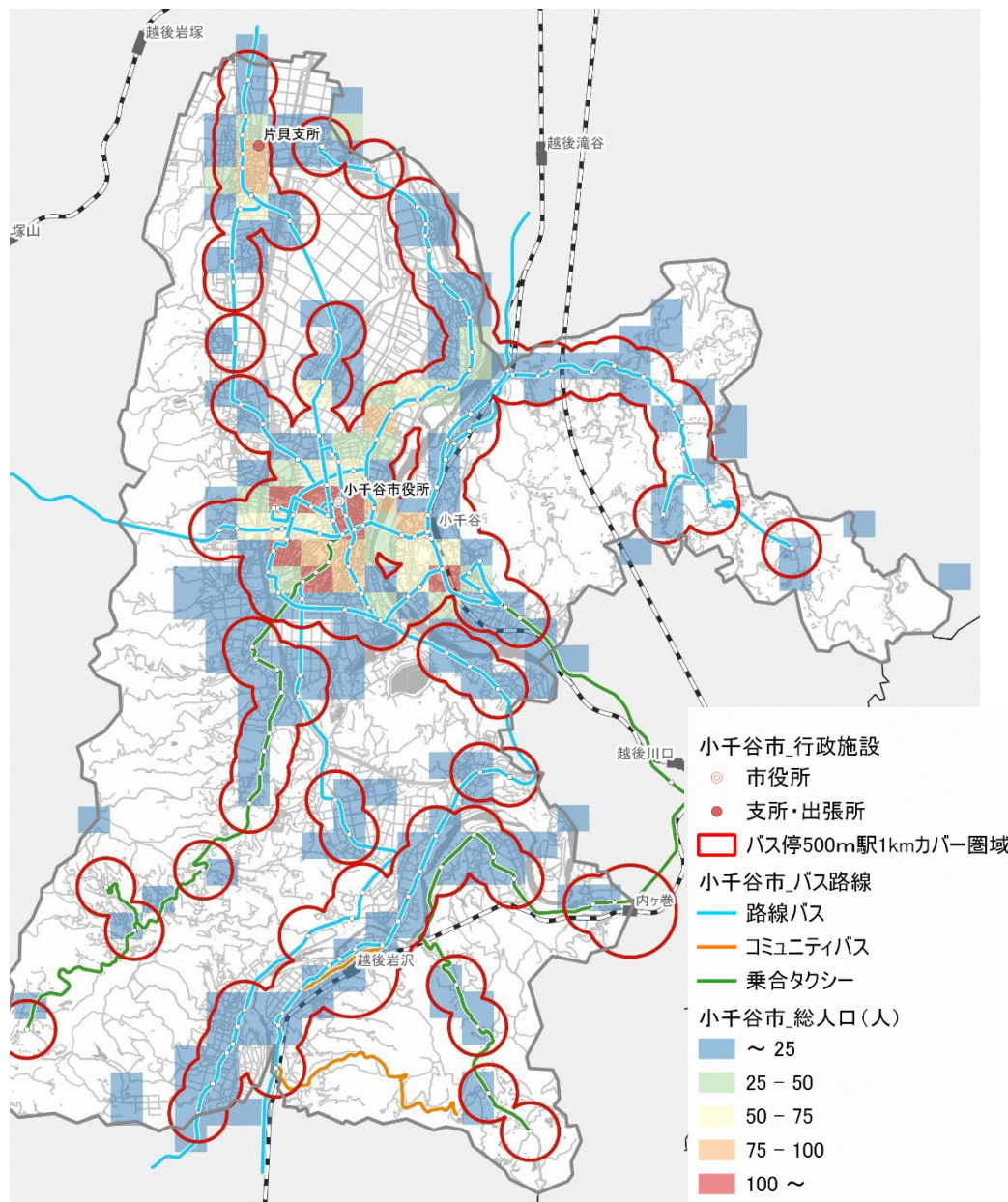
3. 公共交通のカバー状況

●市では、前述の鉄道、路線バス、乗合タクシーに加え、コミュニティバスの運行により、人口の92%、高齢人口の91%をカバーしています。
→交通空白地域への対応や、現状カバーしている各公共交通のニーズや評価を踏まえた見直し等が求められます。

▼公共交通カバー状況

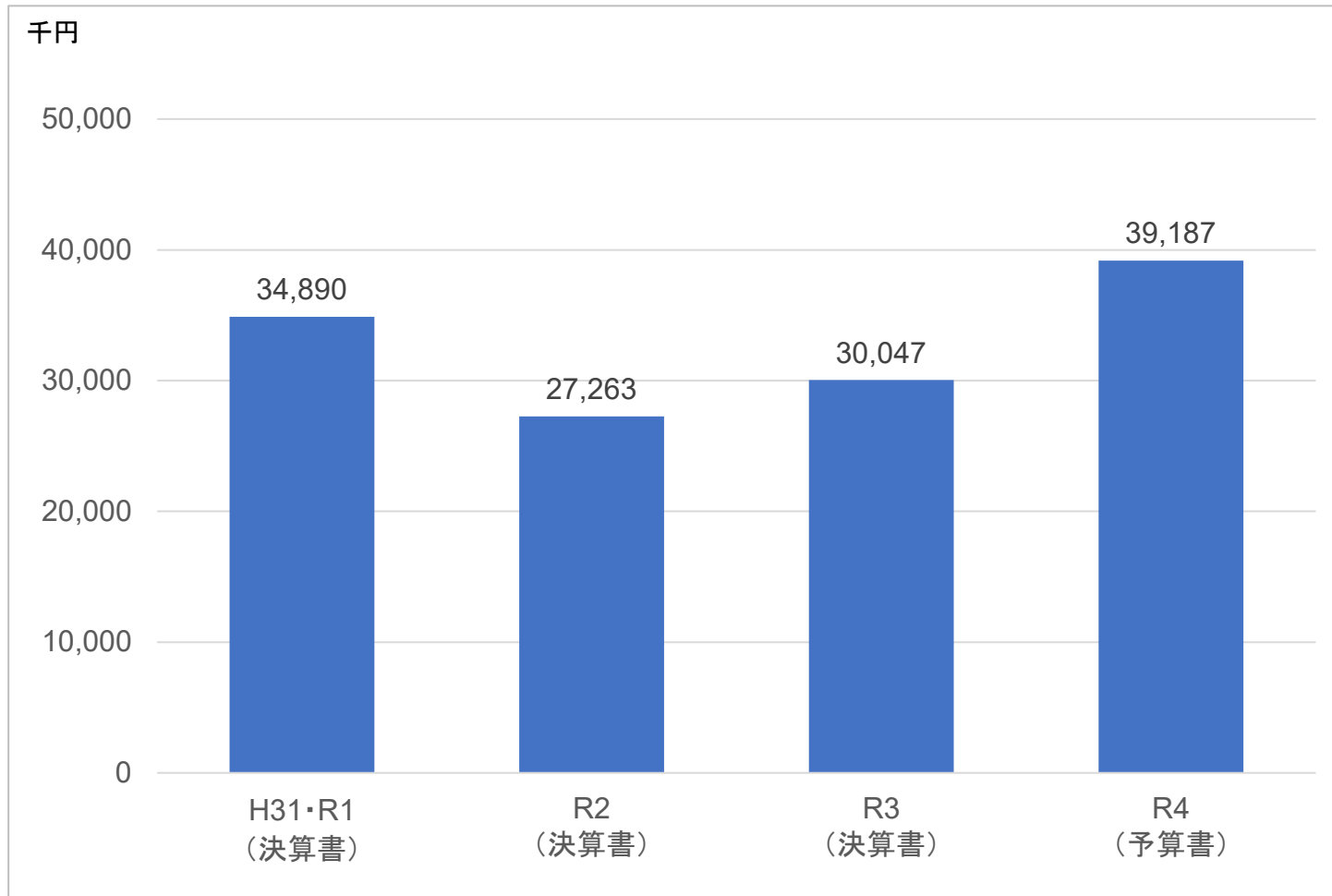
(駅1km、バス停500m圏内カバー人口)

	総人口	高齢人口	カバー人口 (総人口)	カバー人口 (高齢人口)
人口 (人)	34,613	12,391	31,874	11,296
カバー率 (%)			92%	91%



4. 公共交通に関する市の支出状況

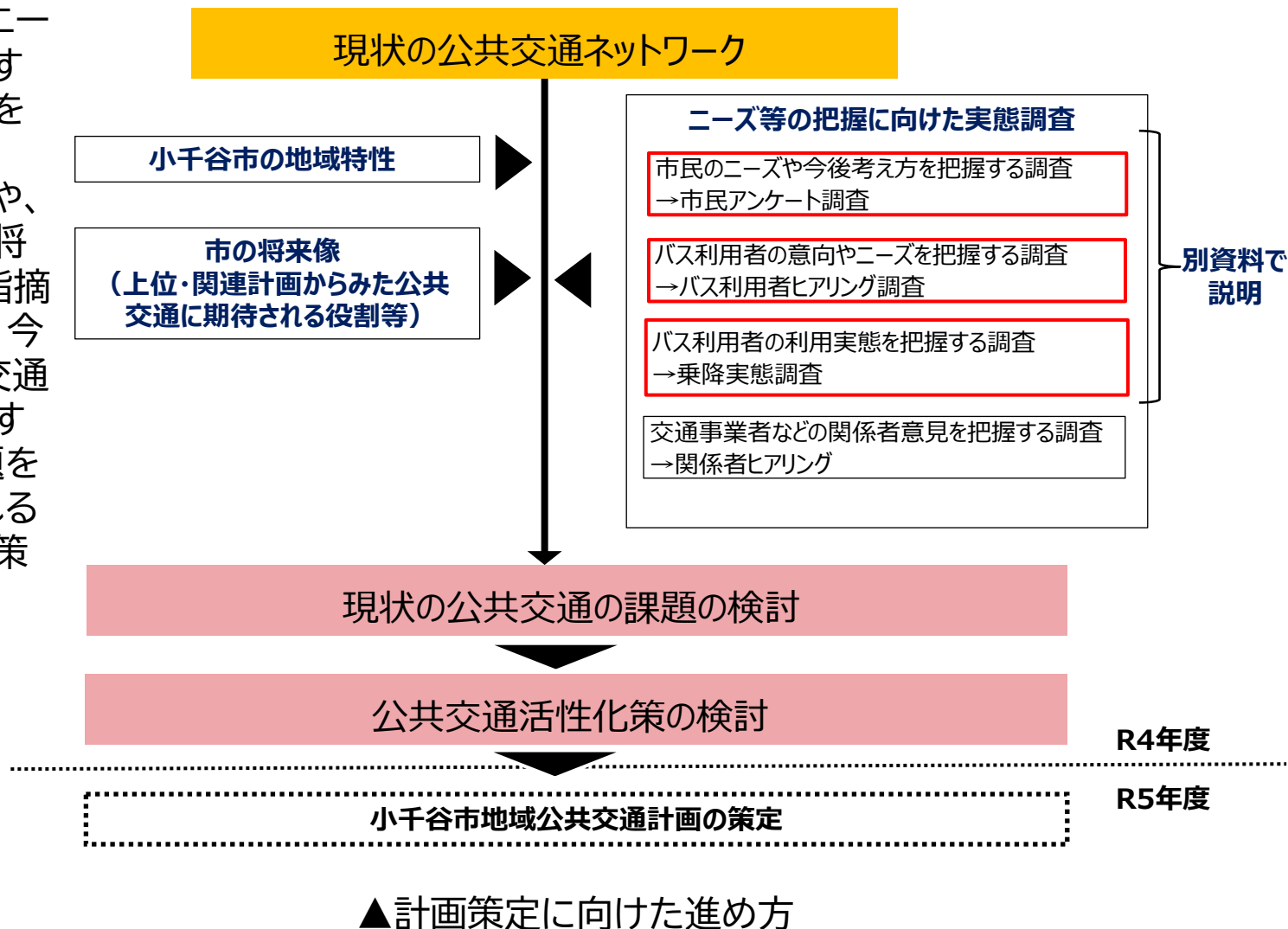
- 本市では、前項で示した公共交通のネットワークの維持・確保の為、毎年約3,000～4,000万円支出しています。



▲公共交通関連支出(市予算書または決算書より)

5. 今後の検討の進め方

- この後、市民をはじめとした様々なニーズや意見を把握する為の実態調査を実施します。
- これら調査結果や、市の地域特性や将来像、本会議の指摘や意見を踏まえ、今年度では、公共交通の課題を明確化するとともに、課題を踏まえ、求められる公共交通活性化策を検討します。



路線バス運賃の見直しについて

1 運賃見直しの背景

越後交通グループより、令和4年10月1日からの路線バス運賃の見直しについて、7月13日に運輸支局に届出をした旨の報告がありました。新型コロナウイルス感染症に伴う生活様式の変化、軽油価格の高騰などに加え、路線バスの利用者減により厳しい収支状況となっていることが主な変更理由です。なお、中距離・長距離区間の運賃を中心に、国の認可を受けている上限運賃の範囲内で見直しを行うものです。

2 対象

越後交通グループ一般乗合バス全線

3 主な区間の運賃見直しの内容

○越後交通(株)運行路線

区間	現行運賃 (令和4.9.30まで)	変更後運賃 (令和4.10.1から)
小千谷本町～長岡駅前（片貝経由）	510円	590円
小千谷本町～長岡駅前（国道経由）	440円	510円
小千谷本町～片貝一之町	310円	350円
小千谷本町～塩谷	430円	440円
小千谷本町～小国車庫前	490円	560円
小千谷車庫前（岩沢経由）～十日町本町	600円	690円
小千谷車庫前（川西経由）～十日町本町	560円	640円

○南越後観光バス(株)運行路線

区間	現行運賃 (令和4.9.30まで)	変更後運賃 (令和4.10.1から)
小千谷本町～牛ヶ島	240円	270円
小千谷本町～川口駅角	270円	310円
小千谷本町～堀之内駅角	370円	420円
小千谷本町～小出営業所	470円	540円
小千谷駅角～小出営業所	430円	490円
小千谷総合病院前～小出営業所	490円	560円

4 運賃変更日

令和4年10月1日（土）

